証券コード9601

第150期
報　告　書

（平成27年3月1日から平成28年2月29日まで）

©2016「植物図鑑」製作委員会

松竹株式会社

株主の皆様へ

松 竹 株 式 会 社

代表取締役社長　**迫本 淳一**

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第150期（平成27年3月1日から平成28年2月29日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

なお、当期の期末配当につきましては、普通配当の3円に特別配当1円を加え、1株当たり4円とさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境に改善が見られ、原油価格の低下等により交易条件が改善するなか、緩やかな回復基調が続きましたが、中国経済、中東情勢等の外的要因による景気の下振れがリスクとなり、金融資本市場の変動の影響に留意が必要となりました。

映画業界は、興行収入2,171億1,900万円（前年比104.9％）、入場人員1億6,663万人（前年比103.4％）となりました。邦画・洋画の構成比は邦画が55.4％、洋画が44.6％となり、「ジュラシック・ワールド」等が好調で、前年に引き続き洋画がシェアを上げました。全国のスクリーン数は前年より73スクリーン増えて3,437スクリーンとなりました。

演劇業界は、依然としてお客様が公演を厳しく選別している状況が続くなか、お客様の嗜好に合致した公演・企画を実現させていくとともに、現状の観客動員を維持しながら、新たな販路を開拓していくことが課題となりました。

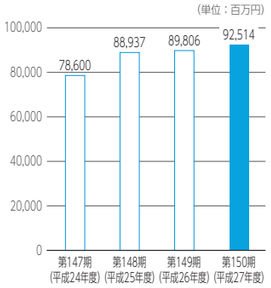
不動産業界は、賃貸オフィスビル市場で、都心部は主要大規模ビルの竣工が無かったことに加えて、堅調なオフィス需要を背景に空室率は改善が見られたものの、2017年4月の消費税引き上げ前の駆け込み需要を除けば、力強い回復は期待しづらく、引き続き注視が必要な状況が続きました。

このような状況下、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動を展開しました。以上の結果、当連結会計年度は、売上高92,514百万円（前連結会計年度比103.0％）、営業利益7,409百万円（同98.7％）、経常利益6,576百万円（同101.1％）となり、特別利益558百万円、特別損失1,042百万円を計上し、当期純利益は3,895百万円（同93.2％）となりました。

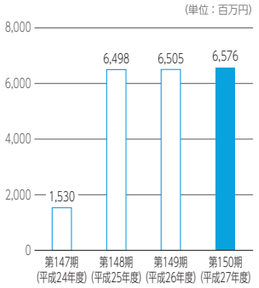
以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

連結決算ハイライト

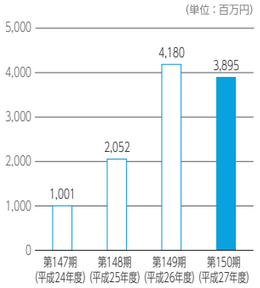
売上高



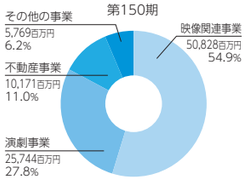
経常利益



当期純利益



事業別売上高



映像関連事業

【配給】ODSを含む邦画19本、洋画5本、アニメ12本、シネマ歌舞伎、METライブビューイングとバラエティに富んだ作品を公開しました。上期は、6月公開のアニメ「ラブライブ！The School Idol Movie」が熱心なファンの支持を得て大ヒットとなり、8月公開の「日本のいちばん長い日」は、終戦の舞台裏を描いたノンフィクションを豪華キャストで映画化し、高い評価を受けました。下期は、東野圭吾の長編サスペンスを映画化した9月公開の「天空の蜂」が話題となり、12月公開の松竹120周年記念映画「母と暮せば」は吉永小百合、二宮和也を主演に迎え、山田洋次監督が原爆投下から3年後の長崎を舞台に母と息子の愛情を描きヒットとなりました。

【興行】㈱松竹マルチプレックスシアターズにて、「ジュラシック・ワールド」「バケモノの子」をはじめ夏興行が盛況だったことに加え、冬休みも「スター・ウォーズ／フォースの覚醒」を筆頭に、多数のヒット作が公開されました。邦画、洋画、アニメ、ODSを合わせて332本の作品を上映した他、ライブビューイング、イベント上映等、幅広いラインナップの興行を行い、好調に推移しました。なお、新宿ピカデリーは、2015年4月、近隣に競合館がオープンしましたが、結果として新宿地区のマーケットが大幅に拡大したため、引き続き高稼働しました。

【テレビ制作】地上波にて、時代劇「鬼平犯科帳スペシャル 浅草・御厩河岸」「剣客商売 陽炎の男」「必殺仕事人2015」、シリーズ企画「司法教官・穂高美子4」、ドラマスペシャル「黒の斜面」、連続ドラマ「釣りバカ日誌　新入社員 浜崎伝助」、BS情報番組「片岡愛之助の解明！歴史捜査」、CS時代劇「果し合い」、WOWOWドラマ「5人のジュンコ」を制作し、収益に貢献しました。番組販売では「鬼平犯科帳シリーズ」のローカル局販売が前期に引き続き好調で、BS局への「喧嘩屋右近」他、時代劇シリーズのパッケージ放映権販売等が収益に貢献しました。

【映像版権】≪DVD・ブルーレイディスク販売≫「ARIA The ANIMATION」「エクスペンダブルズ3 ワールドミッション」「ソロモンの偽証」（前後篇二部作）「天空の蜂」「日本のいちばん長い日」「たまゆら～卒業写真～」等を発売しました。また、旧作につきましては「晩春」「残菊物語」「青春残酷物語」等をデジタル修復し、発売しました。また、ブックレット付DVDの「必殺仕事人」「釣りバカ日誌」シリーズが売り上げに貢献しました。

≪権利販売≫テレビ放映権販売は、BSジャパンにて、2015年1月より毎週土曜日に「男はつらいよ」が全作放映され、2016年1月からは「釣りバカ日誌」シリーズの放映が始まりました。また、NHK BSでは、昨年9月に亡くなった女優原節子を追悼して、デジタル修復した小津安二郎監督作品「東京物語」「秋日和」が放映されました。さらにインターネット配信は、初めて「釣りバカ日誌」シリーズを開始するとともに、「男はつらいよ」シリーズの月額定額制配信を開始する等、収益に貢献しました。

【CS放送】CS業界はインターネットを介した映像配信サービス（NETFLIX、Amazon等）の台頭により、厳しい状況が続くなか、松竹ブロードキャスティング㈱は、映画・舞台・ドラマ等の番組編成の強化による契約数の増加と広告営業の強化により、収益の拡大を実現しました。

演劇事業

【歌舞伎座】新開場3年目となりました歌舞伎座は、3月に「菅原伝授手習鑑」、6月に「新薄雪物語」の通し上演を行う等、若手花形俳優も積極的に起用しながらの意欲的な公演に取り組みました。また、新開場後初の襲名披露興行となった4月の四代目中村鴈治郎襲名披露公演が話題を集め、二世尾上松緑二十七回忌追善狂言の上演を行った「芸術祭十月大歌舞伎」、十一世市川團十郎五十年祭と銘打った11月の「吉例顔見世大歌舞伎」が評判を呼びました。「十二月大歌舞伎」「壽初春大歌舞伎」は活況を呈し、「二月大歌舞伎」は「新書太閤記」の通し上演が大きな話題となりました。

【新橋演舞場】3月には、藤山直美主演となるスーパー喜劇の新作「かぐや姫」が盛況で、7月の歌舞伎NEXTと銘打った意欲作「阿弖流為」は市川染五郎、中村勘九郎、中村七之助らが出演し好成績を収め、8月は片岡愛之助主演「もとの黙阿弥」が話題を集めました。10月、11月は、市川猿之助主演のスーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）の第二弾として大人気漫画を舞台化した「ワンピース」を連続上演し、幅広い年齢層のお客様に支持を受け大盛況となり、同作品は、平成27年度（第70回）文化庁芸術祭演劇部門（関東）の優秀賞を受賞しました。

「日本のいちばん長い日」
©2015「日本のいちばん長い日」製作委員会

「母と暮せば」
©2015「母と暮せば」製作委員会

平成27年4月 歌舞伎座
四代目中村鴈治郎襲名披露「成駒家歌舞伎賑」
©松竹株式会社

【大阪松竹座】3月、8月、12月の関西ジャニーズJr.公演は連日満員の盛況となりました。4月のスーパー喜劇「かぐや姫」、9月の「もとの黙阿弥」、10月の「阿弖流為」は、新橋演舞場での盛況を受けての上演で収益に貢献しました。「六月花形歌舞伎　鯉つかみ」は片岡愛之助の大奮闘が話題を呼び、「七月大歌舞伎」は片岡仁左衛門中心の舞台で好評を博し、「壽初春大歌舞伎」では、坂田藤十郎、片岡愛之助、市川中車による舞台が人気を集めました。11月の「松竹新喜劇錦秋公演」は道頓堀開削四百年を記念して「はるかなり道頓堀」を上演し、同作品は、平成27年度（第70回）文化庁芸術祭演劇部門（関西）の大賞を受賞しました。

【南座】「三月花形歌舞伎」では、次世代を担う若手花形俳優の活躍が舞台を盛り上げ、「九月花形歌舞伎」では、中村獅童主演の新作歌舞伎「あらしのよるに」が人気を博し、新たな歌舞伎ファンの動員に繋がりました。また、恒例の「吉例顔見世興行」にて、四代目中村鴈治郎襲名披露公演を締め括りました。8月の「松竹新喜劇 葉月爆笑公演」は、ゲストに五木ひろしを迎え大好評の公演となり、1月の「松竹新喜劇 初笑い 新春お年玉公演」も盛況となりました。

なお、南座は耐震診断を実施した結果、安全性向上を図る工事を検討することとなり、本年2月より休館となりました。

【その他の公演】浅草公会堂にて「新春浅草歌舞伎」は尾上松也ら若手中心の公演となり2年目の興行でしたが、一層の活況を呈する公演となりました。三越劇場では、新派公演を6月に「十三夜」と「残菊物語」、1月には新作の「糸桜」を上演しました。その他、「平成中村座 陽春大歌舞伎」は浅草寺境内で4月から5月の初めにかけて大盛況となり、日生劇場は5月に堀北真希主演「嵐が丘」、9月は恒例のジャニーズ若手による公演「少年たち」を上演しました。サンシャイン劇場は4月につかこうへい作・錦織一清演出による「広島に原爆を落とす日」、4月、5月に市村正親らの出演による「ART」等、バラエティに富んだ公演に取り組みました。

【受託製作】明治座にて市川猿之助、片岡愛之助を中心とした人気の舞台「五月花形歌舞伎」を製作、博多座では四代目中村鴈治郎襲名披露公演「六月博多座大歌舞伎」、2月の「坂東玉三郎特別舞踊公演」を製作し好評を博しました。その他、新歌舞伎座で8月に市川右近主演「新・水滸伝」、赤坂ACTシアターで9月に「赤坂大歌舞伎」、日本特殊陶業市民会館で10月に中村吉右衛門を中心とした「錦秋名古屋 顔見世」を製作しました。また、大阪城西の丸庭園内 特設劇場にて10月、11月に5年ぶりの開催となりました「大阪平成中村座」を製作し話題を呼びました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】≪シネマ歌舞伎≫コクーン歌舞伎にて上演した「三人吉三」をNEWシネマ歌舞伎として6月から公開し、大きな話題を呼び、2月には十世坂東三津五郎追善として、「喜撰／棒しばり」を上映し大好評を得ました。

≪METライブビューイング≫2015−2016シーズンはヴェルディ「イル・トロヴァトーレ」に始まり、プッチーニ「トゥーランドット」まで6作品を上映し多くのオペラ・ファンを魅了しました。

不動産事業

不動産賃貸では、歌舞伎座タワー、築地松竹ビル（銀座松竹スクエア）、新宿松竹会館（新宿ピカデリー）、有楽町センタービル（マリオン）、松竹倶楽部ビル、大船の松竹ショッピングセンター、新木場倉庫等が満室稼働し、安定収入に貢献しました。また、京都市中京区の京都第2ビル跡地については、2015年12月より賃貸を開始しました。各ビルともに効率的運営、経費削減に努め、計画どおりに利益を確保しました。

その他の事業

≪プログラム、キャラクター商品≫「ラブライブ！The School Idol Movie」「映画 ハイ☆スピード！−Free! Starting Days−」「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」シリーズ等、自社配給のアニメ作品が好調で、収益の中心となりました。

≪イベント事業≫大阪南港ATCホールでのファミリー向けイベント「巨大昆虫ワールド」や、東京タワーでのホラーイベント「東京タワーに住み憑く あの子」等、大型集客イベントを展開したほか、前期に引き続きよみうりランドにて「ボリショイサーカス」を開催し、大きな成果を上げました。直営事業所では大井競馬場の観戦型レストラン「ダイアモンドターン」が高稼働し、収益に貢献しました。

平成27年6月 歌舞伎座「新薄雪物語」
©松竹株式会社

平成27年5月
日生劇場「嵐が丘」
©松竹株式会社

「歌舞伎座タワー」
©松竹株式会社・
株式会社歌舞伎座

「巨大昆虫ワールド」
©巨大昆虫ワールド実行委員会

対処すべき課題

今後のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が進み、経済の好循環がさらに進展するなかで、堅調な需要に支えられた景気回復が見込まれ、日銀によるマイナス金利導入の効果も期待されるものの、新興国等の景気の下振れがリスクとなり、引き続き金融資本・商品市場の動向に留意する必要があります。

当社グループは、コンプライアンス経営の強化に取り組み、コーポレート・ガバナンスの推進を図って参ります。社会情勢に対応しつつ企業価値を高め、あらゆる世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇コンテンツを創造して参ります。

≪映像関連事業≫映画製作・配給は、独自の企画・製作力を高めるとともに、一本一本丁寧な営業・宣伝・販売活動に尽力し、お客様に喜ばれる作品を提供して参ります。人気恋愛小説を三代目 J Soul Brothersの岩田剛典と高畑充希主演で映画化した「植物図鑑 運命の恋、ひろいました」、EXILE TRIBEをはじめ豪華キャストが出演し、映画だけでなくTVドラマ・コミック・ライブ等、様々なメディアコンテンツが展開される「HiGH&LOW　THE MOVIE」、生田斗真を主演に迎え大人気のミステリーコミックを映画化した「秘密 THE TOP SECRET」、ヒットした時代劇の続編で、佐々木蔵之介をはじめキャストが再集結した「超高速！参勤交代　リターンズ」等を公開する予定です。

≪演劇事業≫一般販売の促進とともに団体販売も充実させながら、話題の舞台を提供して参ります。歌舞伎につきましては、歌舞伎座を中心に五代目中村雀右衛門襲名披露と八代目中村芝翫襲名披露を行います。襲名披露に代表される伝統的な大歌舞伎公演以外にも、若手花形中心の公演や新作歌舞伎への取り組み、スーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）「ワンピース」の全国展開等、一層充実させて参ります。

一般演劇につきましては、新派の二代目喜多村緑郎襲名披露や松竹新喜劇の藤山寛美二十七回忌追善という話題の公演をはじめとして、歌舞伎若手花形俳優を起用した舞台、新キャストによる「三婆」等、顧客層を広げるバラエティに富んだ公演を製作して参ります。

休館中の南座につきましては、第三者機関による耐震診断結果の判定を経て、工事計画を決定いたします。

シネマ歌舞伎は、昨年好評を得た「阿弖流為」を6月より公開し、スーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）「ワンピース」は秋の公開を目指し、正月には、坂東玉三郎による「阿古屋」の上映を予定しております。

METライブビューイングは、新シーズンが例年どおり11月よりワーグナー「トリスタンとイゾルデ」（新演出）で幕を開け、計10作品の上映を予定しております。

≪不動産事業≫所有物件に残りわずかな空室部分がございますが、テナント誘致に鋭意努めて参ります。また、ご入居いただいたテナント企業様には、松竹独自の細やかなテナントリレーションを創意工夫することで、建物価値の向上およびグループ会社との連携も含めた新たなビジネスの架け橋となることを心がけて参ります。ビル管理におきましては、防災体制やセキュリティの向上に取り組むとともに、快適な環境作りや省エネにも努め、「安心・安全なビル運営」のもと、より一層の安定収益確保に努めて参ります。

≪その他の事業≫プログラム・キャラクター商品では、バラエティに富んだ作品でそれぞれのターゲット、コアファンに向けた商品開発に注力して参ります。また、映画以外のコンテンツの商品や出版物にも積極的にチャレンジし、映画興行に左右されない収益基盤の構築および歌舞伎等の商品化権による収益化も目指して参ります。

イベントプロモーション事業につきましては、グローバル展開のひとつとして中国でのホラーイベント開催を予定しております。並行してテーマパークでのアトラクション受注や、大型イベントの販売拡大に向け、企画・営業を強化いたします。新たな試みとしては、ホテル等の空間プロデュースにもチャレンジして参ります。好調な歌舞伎商品は、新規開発や販売拠点の拡大にもこれまで以上に注力して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

「植物図鑑　運命の恋、ひろいました」
©2016「植物図鑑」製作委員会

「超高速！参勤交代　リターンズ」
©2016「超高速！参勤交代　リターンズ」製作委員会

「五代目中村雀右衛門口上」
©篠山紀信

「八代目中村芝翫口上」
©荒木大甫

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当期末 平成28年2月29日現在	前期末 平成27年2月28日現在
資産の部		
流動資産	**42,974**	36,388
固定資産	**154,034**	158,263
有形固定資産	106,185	109,995
無形固定資産	2,851	2,892
投資その他の資産	44,997	45,375
資産合計	**197,009**	194,652
負債の部		
流動負債	**33,590**	42,511
固定負債	**82,824**	75,670
負債合計	**116,415**	118,181
純資産の部		
株主資本	**73,549**	69,425
資本金	33,018	33,018
資本剰余金	30,135	30,135
利益剰余金	11,740	7,595
自己株式	△ 1,344	△ 1,324
その他の包括利益累計額	**6,979**	6,992
その他有価証券評価差額金	6,937	6,929
退職給付に係る調整累計額	41	63
少数株主持分	**65**	52
純資産合計	**80,594**	76,470
負債・純資産合計	**197,009**	194,652

■ 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当　期 自 平成27年3月 1日 至 平成28年2月29日	前　期 自 平成26年3月 1日 至 平成27年2月28日
売上高	**92,514**	89,806
売上原価	**52,804**	50,565
売上総利益	**39,710**	39,240
販売費及び一般管理費	**32,301**	31,730
営業利益	**7,409**	7,510
営業外収益	**556**	721
営業外費用	**1,390**	1,726
経常利益	**6,576**	6,505
特別利益	**558**	779
特別損失	**1,042**	413
税金等調整前当期純利益	**6,092**	6,871
法人税、住民税及び事業税	**1,645**	2,302
法人税等調整額	**538**	383
法人税等合計	**2,184**	2,685
少数株主損益調整前当期純利益	**3,908**	4,185
少数株主利益	**12**	5
当期純利益	**3,895**	4,180

■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当　期 自 平成27年3月 1日 至 平成28年2月29日	前　期 自 平成26年3月 1日 至 平成27年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	**12,101**	6,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 4,102**	2,809
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 3,220**	△ 19,610
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	**4,777**	△ 10,217
現金及び現金同等物の期首残高	**9,552**	19,769
現金及び現金同等物の期末残高	**14,329**	9,552

■ 連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

当　期 自 平成27年3月 1日 至 平成28年2月29日	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	33,018	30,135	7,595	△1,324	69,425	6,929	63	6,992	52	76,470
会計方針の変更による累積的影響額			801		801					801
会計方針の変更を反映した当期首残高	33,018	30,135	8,397	△1,324	70,227	6,929	63	6,992	52	77,272
当期変動額										
剰余金の配当			△552		△552					△552
当期純利益			3,895		3,895					3,895
自己株式の取得				△21	△21					△21
自己株式の処分		0		0	1					1
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						8	△22	△13	12	0
当期変動額合計	–	0	3,342	△20	3,322	8	△22	△13	12	3,321
当期末残高	33,018	30,135	11,740	△1,344	73,549	6,937	41	6,979	65	80,594

個別財務諸表

■ 貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当期末 平成28年2月29日現在	前期末 平成27年2月28日現在
資産の部		
流動資産	**19,888**	15,307
固定資産	**123,589**	125,180
有形固定資産	46,126	47,116
無形固定資産	3,062	3,030
投資その他の資産	74,400	75,033
資産合計	**143,478**	140,487
負債の部		
流動負債	**23,182**	31,120
固定負債	**41,264**	32,058
負債合計	**64,447**	63,178
純資産の部		
株主資本	**72,126**	70,434
資本金	33,018	33,018
資本剰余金	29,929	29,929
利益剰余金	10,079	8,366
自己株式	△ 901	△ 880
評価・換算差額等	**6,905**	6,874
その他有価証券評価差額金	6,905	6,874
純資産合計	**79,031**	77,308
負債・純資産合計	**143,478**	140,487

■ 損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当　期 自 平成27年3月 1日 至 平成28年2月29日	前　期 自 平成26年3月 1日 至 平成27年2月28日
売上高	**55,724**	53,885
売上原価	**36,265**	33,856
売上総利益	**19,459**	20,029
販売費及び一般管理費	**16,675**	16,104
営業利益	**2,783**	3,925
営業外収益	**680**	627
営業外費用	**900**	617
経常利益	**2,563**	3,935
特別利益	**76**	1,640
特別損失	**492**	286
税引前当期純利益	**2,147**	5,290
法人税、住民税及び事業税	**563**	1,508
法人税等調整額	**119**	203
法人税等合計	**683**	1,712
当期純利益	**1,463**	3,577

■ 株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

当　期 自 平成27年3月 1日 至 平成28年2月29日	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計					
					固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金						
当期首残高	33,018	27,935	1,993	29,929	3,673	4,693	8,366	△880	70,434	6,874	6,874	77,308
会計方針の変更による累積的影響額						801	801		801			801
会計方針の変更を反映した当期首残高	33,018	27,935	1,993	29,929	3,673	5,495	9,168	△880	71,235	6,874	6,874	78,110
当期変動額												
実効税率変更による固定資産圧縮積立金の増加					191	△191	–		–			–
固定資産圧縮積立金の取崩					△45	45	–		–			–
剰余金の配当						△552	△552		△552			△552
当期純利益						1,463	1,463		1,463			1,463
自己株式の取得								△21	△21			△21
自己株式の処分			0	0				0	1			1
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										30	30	30
当期変動額合計	–	–	0	0	146	764	910	△20	890	30	30	920
当期末残高	33,018	27,935	1,993	29,929	3,819	6,259	10,079	△901	72,126	6,905	6,905	79,031

スーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）第二弾『ワンピース』

昨年10月7日、市川猿之助が、また新たな一歩を踏み出しました。伯父である市川猿翁が生み出したスーパー歌舞伎を継承するスーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）の第二弾として『ワンピース』を上演し、大成功を収めたのです。猿翁が、三代目猿之助時代の30年前に初演した名作『ヤマトタケル』をもって誕生したスーパー歌舞伎。その誕生の地である新橋演舞場は、演者の熱気と観客の大きな期待に包まれ、初日を迎えました。そして連日満員の盛況となりました。

原作は、国内外で高い人気を誇る尾田栄一郎氏の漫画「ONE　PIECE」。脚本を担うのは、猿翁のもとでスーパー歌舞伎等を手がけてきた横内謙介氏。市川右近、市川笑也らの猿翁一門や市川門之助をはじめとする歌舞伎俳優に加え、浅野和之、福士誠治ら歌舞伎以外からの俳優陣の参加を得た舞台は、作品のもつ壮大な世界観と伝統芸能である歌舞伎との融合が大きな反響を呼びました。それは、歌舞伎と漫画という全く異なるジャンルの融合の可能性を探った意欲作であり、お客様に楽しんでいただくことを何よりも大切にしたエンターテインメントの新たな形を示すこととなりました。

平成27年10、11月 新橋演舞場
スーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）「ワンピース」
©スーパー歌舞伎Ⅱ『ワンピース』パートナーズ

かつてのスーパー歌舞伎のファンだけでなく、これまでスーパー歌舞伎にも古典歌舞伎にも縁のなかった新しい観客をも魅了した新たな舞台は、その後大阪松竹座、博多座と再演を重ね、さらなる進化に大きな期待が寄せられています。

新作映画情報

植物図鑑
運命の恋、ひろいました

名前しか知らない、あなたを好きになってもいいですか？

©2016「植物図鑑」製作委員会

仕事もプライベートもうまくいかない。何のとりえもないごく普通の女の子・さやかのマンションの前に、ある晩あらわれたのは、生き倒れた青年・樹。

「お嬢さん、よかったら俺を拾ってくれませんか？噛みません、しつけのできた良い子です。」

漫画のようなセリフと人懐っこい笑顔でお願いされたさやかは、樹にインスタントラーメンをご馳走する。

この突然の出逢いから、二人の「半年」という期限付きの同居生活が始まることとなった。しかし彼は、自身の名前と、野草に詳しいということ以外は、謎に包まれていた。

休日は、樹の案内で近所の土手に野生の植物をとりに行き、それを一緒に料理して食卓を囲む。

「雑草という草はない。草にはすべて名前があります。と昭和天皇は仰ったそうです。」

知らない世界をやさしく教えてくれる樹と過ごすうちに、「好き」という気持ちが積もっていくさやか。

けれど、樹は期限の半年後、突然さやかの前から消えてしまう。彼には、ある秘密があったのだった――。

恋を知り、傷つき、もがきながら、少しずつ変わっていくさやか。時が経ち、樹のいない生活を受け入れ始めた頃、樹の秘密を知ることになる。

樹の秘密が明らかになる時、二人の恋の行方は、感動のラストへ――。

「図書館戦争」「阪急電車」などの数多くの映像化作品をもつ人気作家・有川浩。そんな有川浩の作品の中でもファンが多い恋愛小説「植物図鑑」がついに映画化。主演は、EXILE/三代目J Soul Brothersの岩田剛典と、NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」のヒロインに抜擢された高畑充希。今一番輝く主演二人がみずみずしい演技で魅せる今年最もピュアな物語です。その感動のラストに誰もがきっと涙し、運命の出逢いを信じたくなる、奇跡の純愛ストーリーが誕生しました。

2016年、恋愛映画No1の呼び声高い本作は6月4日（土）全国公開です。ご期待ください。

「植物図鑑　運命の恋、ひろいました」

原作：有川浩「植物図鑑」（幻冬社文庫）
監督：三木康一郎　脚本：渡辺千穂　音楽：羽毛田丈史
出演：岩田剛典（EXILE/三代目J Soul Brothers）　高畑充希　他
主題歌：Flower「やさしさで溢れるように」
（Sony Music Associated Records）
©2016「植物図鑑」製作委員会

当社の情報（平成28年2月29日現在）

会社の概要

商　　号　松竹株式会社
設　　立　大正9年11月
資 本 金　33,018,656,642円
従業員数　525名

本社、支社および営業所
本　　社　東京都中央区築地四丁目1番1号
電話　03-5550-1534（総務課）
関西支社（大　阪）
九州営業所（福　岡）

当社ホームページ
http://www.shochiku.co.jp/

役　員

代表取締役会長	大谷信義
代表取締役社長	迫本淳一
取締役副社長	安孫子正
取締役副社長	細田光人
常務取締役	武中雅人
常務取締役	大角正
常務取締役	岡崎哲也
社外取締役相談役	越村敏昭
取締役	秋元一孝
取締役	関根康
取締役	山根成之
社外取締役	田中早苗
取締役	西村幸記
取締役	髙橋敏弘
常勤監査役	岡田敏明
社外監査役	鈴木茂晴
社外監査役	牛島信
社外監査役	立花貞司

グループ会社一覧

連結子会社

- 松竹衣裳㈱：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ㈱松竹サービスネットワーク：映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備、旅行業者代理業
- 松竹ショウビズスタジオ㈱：舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
- 松竹芸能㈱：タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
- 松竹ブロードキャスティング㈱：CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
- ㈱松竹撮影所：劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負
- ㈱松竹映像センター：映像制作、編集およびDVDオーサリング
- ㈱松竹マルチプレックスシアターズ：複合映画館（シネマコンプレックス）の開発・運営
- 松竹音楽出版㈱：映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- 松竹ナビ㈱：宣伝の企画・制作・代理
- 歌舞伎座舞台㈱：演劇舞台の大道具製作・販売
- ㈱関西美術：演劇舞台の小道具製作・賃貸
- 日本演劇衣裳㈱：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ㈱松竹エンタテインメント：俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント
- 匿名組合築地ビルキャピタル：築地松竹ビルの賃貸および管理
- KSビルキャピタル特定目的会社：歌舞伎座タワーの賃貸および管理

持分法適用会社

- ㈱サンシャイン劇場：サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- ㈱イヤホンガイド：演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ㈱歌舞伎座：歌舞伎座その他の事務所・店舗の賃貸
- 新橋演舞場㈱：新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
- インターローカルメディア㈱：放送法による委託放送業務およびその他の放送一般事業
- 歌舞伎座サービス㈱：食堂・飲食店舗・売店の経営
- Aetas㈱：ゲーム全般に関する情報サイトの運営

株式の状況

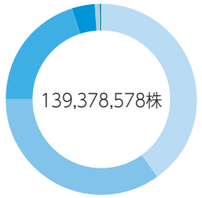
発行可能株式総数　300,000,000株
発行済株式の総数　139,378,578株（自己株式1,165,843株を含んでおります。）
株主数　17,148名（前事業年度末比488名増）

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
株式会社歌舞伎座	4,802千株	3.47%
株式会社みずほ銀行	4,500千株	3.26%
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344千株	3.14%
セコム株式会社	3,700千株	2.68%
清水建設株式会社	3,690千株	2.67%
株式会社大林組	3,600千株	2.61%
西松建設株式会社	3,288千株	2.38%
大成建設株式会社	3,104千株	2.25%
三井物産株式会社	2,700千株	1.95%
株式会社TBSテレビ	2,542千株	1.84%

（注）持株比率は自己株式（1,165,843株）を控除して計算しております。

［所有者別株式分布表］



- その他の法人 55,790,787株（40.03%）
- 外国法人等 5,187,017株（3.72%）
- 個人・その他 48,900,419株（35.08%）
- 自己名義株式 1,165,843株（0.84%）
- 金融機関 28,044,000株（20.12%）
- 金融商品取引業者 290,512株（0.21%）

株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待　ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数	（1ヶ月使用可能ポイント数）
1,000株以上	80ポイント	（40ポイント）
2,000株以上	160ポイント	（60ポイント）
3,000株以上	200ポイント	（80ポイント）
5,000株以上	280ポイント	（100ポイント）
8,000株以上	400ポイント	（120ポイント）
10,000株以上	480ポイント	（140ポイント）

【演劇優待　枚数基準】

保有株式数	6ヶ月優待枚数
3,000株以上	2枚
5,000株以上	4枚
8,000株以上	6枚
10,000株以上	8枚
15,000株以上	12枚
20,000株以上	16枚

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。
　そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。
※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、新宿ピカデリーのみ1名様20ポイントが必要となります。
　新宿ピカデリーは公開の2週目（8日目）以降から利用可能です。「プラチナシート」・「プラチナルーム」はご利用になれません。
※3D映画は、1名様につき15ポイント（通常10ポイントの1.5倍）で、ご鑑賞可能となります（新宿ピカデリーのみ30ポイント）。

株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
株主確定基準日	定時株主総会　2月末日 期末配当　2月末日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137−8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120−232−711（フリーダイヤル） インターネットアドレス　http://www.tr.mufg.jp/daikou/
単元株式数	1,000株
公告掲載URL	http://www.shochiku.co.jp/company/ir/ （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。）

【お知らせ】

1.ご注意

(1) 株主様の住所変更、配当金の口座振込ご指定その他各種お手続きにつきまして、証券会社に口座を開設されている株主様は、原則当該証券会社に、証券会社に口座を開設されておらず特別口座にご所有株式が記録されている株主様は、上記の特別口座の口座管理機関である三菱ＵＦＪ信託銀行にそれぞれお問い合わせください。なお、三菱ＵＦＪ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

(2) 未受領の配当金につきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2.配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

●特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要がございます。

お手続きは、上記の三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部へお問い合わせください。

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK
UD FONT 見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォント を採用しています。